

「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかの道」

居合道はどのような武道ですか？

居合道をはじめるためには何を準備すれば良いですか？

A detailed diagram of a traditional Japanese fishing net (amari). The diagram shows the net's structure from left to right. On the far left is the handle (柄), followed by the lead line (鉛線). The main body of the net consists of several layers: the outermost layer is the mesh (目張り), followed by the lead line (鉛線), and then the inner lining (裏). The net is attached to a wooden frame (木枠) which includes a handle (柄) and a support (支柱). A small label '目' points to the mesh. Another label '目張り' points to the mesh area. A label '支柱' points to the support post. A label '網口' points to the mouth of the net. A label '近魚(折金)かえりつ' points to the return line. A label '下掛' points to the bottom line. On the far right, a label '繰こし' points to the drawstring mechanism.

袴 (透かし)	日本刀 (真剣)	袴	袴 (透かし)



「傷つけず 人を懲らして 戒しむる」(杖道)

—— 杖道をはじめてみませんか? ——

杖道はどのような武道ですか?

杖道は、長さ4尺2寸1分(約128センチ)、直径8分(約2.4センチ)の白樫の丸い杖を用います。武器としては何の変哲もない只の杖に過ぎませんが「突かば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも 外れざりけり」という古歌があり、槍、薙刀、太刀の要素を兼ね備えた千変万化する多種多様な技を持った武道です。その理念は殺傷を目的とはせず「**傷つけず 人を懲らして 戒しむる**」と平和的であり、現代に相応しい武道といえます。杖道は形武道ですので、防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。



西島豊博 杖道八段

杖道を習っている人にはどんな人がいますか?

杖道を習っている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れています。武道経験のない方も大勢います。世代も、10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまですので、どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ:連絡先 (一財)長崎県剣道連盟 杖道部長:橋本 幸一 携帯電話:090-9489-

1645 メール ni.hasimoto@gmail.com



杖道をはじめるためには何を準備すれば良いですか?

武具は**杖**、**木刀**、稽古着は**剣道着**、**袴**、**帯**が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

武具: 杖、木刀(革鰐付)

杖、木刀ともに材質は白樫です。木刀の鰐は、革鰐を選んで下さい。プラスチック製の鰐は安価ですが割れることがあり、危険を避けるため使用は禁止されています。

- 1) 杖 長さ: 4尺2寸1分(128cm) 直径: 8分(2.4cm)
- 2) 木刀 長さ: (全長): 3尺3寸5分(101.5cm)・柄の長さ: 8寸(24.2cm)・鰐: 革製

稽古着: 剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着: 上は剣道着(紺、白、黒)、下は袴を着用(紺、白、黒)・帯

杖	木刀(革鰐付)	剣道着	袴



杖道の試合はどのような試合ですか?

杖道の試合は、二組が同時に指定された技を演武し、3名の審判により判定を下します。杖道の形は太刀を持った相手に対して杖の技を繰り出す組形になっており、太刀を持つ方を「**打太刀**」あるいは単に「打」と言い、杖を持つ方を「**仕杖**」あるいは単に「仕」といいます。試合には数通りの方法がありますが、一般的には、二組が同時に指定された技を演武し、「仕」「打」両方の技の優劣を判定する方法と、「仕」のみの技の優劣を判定する方法があります。剣道、柔道、空手道のように、一本を取り、競い合う試合ではありません。判定は主審1名、副審2名の3名により。技の優劣の判定を下します。審判方法については、全日本剣道連盟の「杖道試合・審判規則」によります。